

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	実習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK230	科目名	子ども英語指導実習Ⅱ	担当者名	成田 恵子
授業の概要	小学校外国語指導実習を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、学習内容、課題を明確化するとともに、実習体験を深化させる。事前指導として、講義や視聴覚学習を用いた演習を行い、より実践的な英語の指導力を養成する。さらに、講義で習得した児童英語教育の知識・技術などを統合し、近隣の小学校や幼稚園で実習体験を実施する。				
科目の到達目標	小学校外国語活動・外国語の指導技術を習得し、小学校・幼稚園での英語活動の指導ができるようになること。				
DP(10のあけのほしパワー)の観点	②表現力 ⑥専門知識・技能 ⑧実践力				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省『小学校学習指導要領 外国語活動・外国語』を理解する。</li> <li>・文部科学省『We Can! 1』『We Can! 2』『Let's Try! 1』『Let's Try! 2』を理解する。</li> <li>・文部科学省『Junior Total English 1』『Junior Total English 2』</li> <li>・実習のための指導案作成、教材の準備を行う。</li> </ul>				
フィードバックの方法	指導技術についてはその都度アドバイスを伝え指導する。指導案や日誌は、添削、コメントを付した後返却する。				
単位認定の要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導の実習に必要な活動案の作成、教材研究。</li> <li>・実習評価。</li> <li>・実習日誌の提出。</li> </ul>				
評価の方法・割合(%)	実習の評価 40%、活動案作成と教材準備 30%、実習日誌 30%				
履修上の注意事項	J-SHINE資格取得認定共通カリキュラム。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			オリエンテーション(授業計画及び評価の観点)	①⑦⑨	ミニッツペーパー
2			指導技術のフィードバック	⑥⑦⑨	ワークシート
3			指導技術①-英語力向上の指導(a)	⑥⑦⑧	ワークシート
4			指導技術②-Classroom English・Teacher Talkの指導	②⑥⑧	ワークシート
5			指導技術③-ゲームを取り入れた指導	⑥⑦⑧	ワークシート
6			指導技術④-英語力向上の指導(b)	⑥⑦⑧	ワークシート
7			指導技術⑤-会話指導	②⑥⑧	ワークシート
8			指導技術⑥-非言語コミュニケーション	②⑥⑦	ワークシート
9			指導技術⑦-文字、音と文字の関連指導	②⑥⑦	ワークシート
10			指導技術⑧-英語力向上の指導(c)	⑥⑦⑧	ワークシート
11			指導技術⑨-歌・チャンツを取り入れた指導	②⑥⑧	ワークシート
12			指導技術⑩-体を動かす活動の指導	②⑧⑧	ワークシート
13			指導技術⑪-英語力向上の指導(d)	⑥⑦⑧	ワークシート
14			評価の観点と評価基準	⑥⑦⑧	ワークシート
15			フィードバックと実習総括・評価	⑥⑦⑨	ワークシート
期末試験					

使用テキスト	岡秀夫・金森強(2012)『小学校外国語活動の進め方ーことばの教育として』成美堂
参考文献 参考URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省『We Can! 1』『We Can! 2』『Let's Try! 1』『Let's Try! 2』</li> <li>・文部科学省『Junior Total English 1』『Junior Total English 2』</li> <li>・文部科学省『小学校外国語活動サイト』<a href="http://www.mext.go.jp/amenu/shotou/gaikokugo/">http://www.mext.go.jp/amenu/shotou/gaikokugo/</a></li> </ul>
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--